

リジン



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



「味の素」は、家畜の飼料への添加物として、微生物に作らせたアミノ酸の一つリジンを製造販売しています。サトウキビから作るグルタミン酸ソーダ（味の素）と同じですね。そこで京大の畜産関係の先生にお願いして飼料用リジンを分けてもらい、リジンで作物を栽培してみました。リジンは1分子に窒素原子を2個含みます。コマツナを化学肥料で育てて追肥にリジンを使ってみると、

化学肥料よりは効きは少し悪いですが、まあまあ大きくなりました。問題は「味」なのですが、研究室のメンバーでブラインド官能テストをしてみたところ、化学肥料は苦味が強いがリジンでは甘いと感じる、という人もいれば、差はわからないという人もいて、誰にでもわかるような違い、はなかったようです。



出荷前に色よく柔らかく仕上げるのには窒素成分の追肥が効果的です。中でも尿素は即効性なのですが、有機認証をもらうためには化学肥料は使えません。そこでリジンを試しています。

